

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ファイン		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 2日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R7年 12月 8日		～ R8年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○事業所の雰囲気大切にしています。 活発に建設的な意思を言える環境です。	毎月の全体会議や毎日の申し送りの中で職員の悩み事や困り事の確認を行い支援者間で助け合う環境作りをしています。また全体会議や毎日の申し送りでは、職員間で活発に意見がでて日々の支援に活かしています。	支援員の強みを活かしながらお子様や保護者様のニーズや課題にそった活動内容に充てていけるよう努めます。
2	○長期間にわたる幅広い年齢交流が出来ます。 小学校1年生から高校3年までの集団活動することで社会性を身に付けたり世代に合わせた役割分担を行います。	長期間通所すると支援員だけでなくお子様同士でも深い信頼関係を築いています。また集団活動を通じてルールを守る大切さを学んだり、日常生活に必要なスキルを習得できるよう支援をしています。	低学年では遊びを通じた発達支援やごっこ遊びで買い物の練習をしたり、高学年以上では公共交通機関を利用し、成長にあわせた途切れのない支援体制を構築しています。
3	○365日年中無休の運営体制を整えています。 土日、祝日、年末年始も支援を継続しています。	環境の違いに敏感なお子様に対しても生活リズムを崩すことなく安定した日常生活を提供しています。また保護者様の就労継続をバックアップするとともに、ご家庭のレスパイトケアとしての役割を担います。	単なるお出かけではなく、日曜日には公共交通機関を利用した外出に取り組んでいます。時刻表の見方や切符の購入、Suicaなどの使い方を学び目的地まで行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域の場の活用方法と地域住民との関わりの少なさ。	日曜日には地域のお祭りに参加したり、出来るだけ公民館などを活用していますが、地域の子ども達との関わりを持つことが難しいです。	公共施設を利用したり地域のお店への訪問、公共交通機関の利用を増やしていく。また地域のボランティアなどの受け入れをしていきたいと思っています。
2	○個々に合わせた集団活動プログラムの実践。	年齢だけでなくお子様個々の課題、日常生活スキルに違いがあるので集団活動プログラムの設定に難しさがあります。	集団活動においても個々に応じた参加方法を考え提供していく。支援員がお子様の一人一人の課題や強みを把握し集団活動プログラムに取り入れていきたいと思っています。
3	○支援室の生活空間・環境整備。	施設・設備の経年劣化が進んでおり、一部で痛みが見られます。またバリアフリーや動線において最新の設備と比較して不十分な点があります。	日々の清掃と小まめな点検を強化しお子様が安全に過ごせる清潔な環境維持に努めます。また近々リフォームを実施します。工事期間中は安全に最大限配慮しより質の高い支援の提供を目指します。